

(仮称) 青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業

設計段階

景観審議会（令和3年7月12日） 資料

(1) 事業概要

昭和52年のあすなろ国体の開催に伴い建築された青森市民体育館は、老朽化が進み、建替えが必要な時期にきていますが、敷地が狭く、現在地への建替えが困難な状況にあります。

また、平成10年の取得以来22年間用途が決まっていなかった広い敷地を有する青森操車場跡地の活用への検討課題などを踏まえ、スポーツのみならず多彩な催事ができる交流・防災拠点として（仮称）青森市アリーナを整備することにより市民の健康づくりとスポーツ振興に加えて、交流人口の拡大及び防災を目的とするアリーナプロジェクトを実施しています。

(2) スケジュール

設計・建設期間	令和3年4月～令和6年3月（3年間）
開業準備期間	令和6年4月～令和6年6月（3ヶ月間）
施設の供用開始	令和6年7月
維持管理・運営期間	令和6年4月～令和21年3月（15年間）
公募設置等計画の有効期間	令和3年4月～令和21年3月（18年間）

(3) 位置図

青森操車場跡地は、陸奥湾に沿って形成されている青森市の市街地のほぼ中心に位置し、周辺は主に住宅地として利用されており、北側には青森市役所本庁舎等の行政機能をはじめ、商業・業務系の機能が集積しています。



(4) 敷地概要

本事業の敷地は、青森操車場跡地の南側市有地（約5.1ha）を対象とします。



項目	内容
所在地	青森県青森市大字浦町字橋本ほか
敷地面積	約5.1ha(市有地を中心とした部分)
現況	青い森セントラルパーク（自由運動広場）として供用（ダスト舗装、遊具、トイレ、駐車場）
用途地域 容積率/建ぺい率	準工業地域 200/60 特別用途地区（大規模集客施設制限地区）の指定あり
青森市都市公園条例に基づく制限	建ぺい率 26%、運動施設率 50%

(5) 建物概要

構造・階数：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造3階建て
延べ面積：10,979㎡程度



(6) 周辺状況

本事業の計画地は、「ゆとりと潤いのある快適で魅力的な〈市街地景観〉の創出を図るエリア」として景観計画に位置付けられており、東側に隣接する県管理の「青い森セントラルパーク」、北側は青い森鉄道線を挟んで市街地が続き、南側には閑静な住宅地を控え、遠景には八甲田山を含む山並みを望むことができます。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

(7) 景観計画

本事業は、青森市景観計画における青森地区中央部景観方針（「誰もが快適で魅力を感じる景観を創出するとともに、歴史的資源や遺跡と調和する周辺景観の形成、緑豊かな街並みの形成を図る」）に基づいた計画とする。

■基本方針

- ・建物の高さは住宅地に向かって段々と低くし、周辺住宅街と調和させ圧迫感を感じさせない施設とする
- ・外壁は自然素材の吹付材を採用し、市民が心身共に健全に過ごすことのできる施設とする
- ・既存の森とマウンドを活かし、ハルニレ・ミズナラといった本市の推薦樹種を中心とした青森らしさを感じさせる植栽計画とする
- ・地元の気候に合った植栽選定と、多様な樹種の混植により、病害に強く管理しやすい植栽計画とする
- ・市民等によって、見やすく、わかりやすいサイン計画とする

■青森地区「市街地で街並みや人工物どうしの調和ゾーン」色彩推奨色

・基調色

○色相：7.5PB～7.5RPを除く色相、明度：5～8.5、彩度：3以下

○色相：10R～10YR、明度：3～5、彩度5以下

・準基調色

○色相：7.5PB～7.5RPを除く色相、明度：2～9、彩度：5以下

■色彩推奨色の代表例（青森県景観色彩ガイドより抜粋）



■建物の外壁に予定している吹付材（マンセル値：2.5Y5/1～10YR7/2程度）



※外壁の色は、建設期間中に吹付材の見本を作製し、実際の建物に合わせ、周辺環境との調和を確認したうえで最終決定とする。

(1)設計方針

健康・交流・防災

1 健康拠点 市民の気軽な立ち『寄り所』

健康づくりやスポーツに触れる、ヨリ・ミチとヨリ・ドマを作ります。



2 交流拠点 市民の絆『縁り所』

一年を通して屋外イベント可能な『ハレの場』を計画します。



3 防災拠点 市民の心の『抛り所』

被災直後から多くの市民を受け入れ可能な、地域の安全安心を支える空間を作ります。



避難者の集合場所・待機配給スペースとなる軒下空間



段ボールベッド配置イメージ



マンホールトイレ設置イメージ

(2)配置図



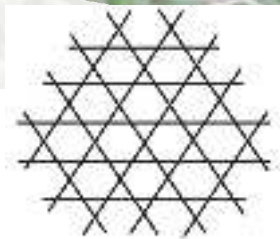
施設のデザイン

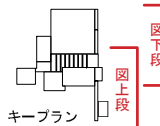
■青森市民の屋根付き屋外広場『ヨリ・ドマ』

一年を通して屋外イベントが可能な市民の『土間』を作ります。



■市民が集う『一番大きなかご』ヨリドマ



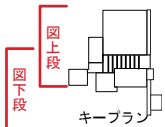


東側立面図

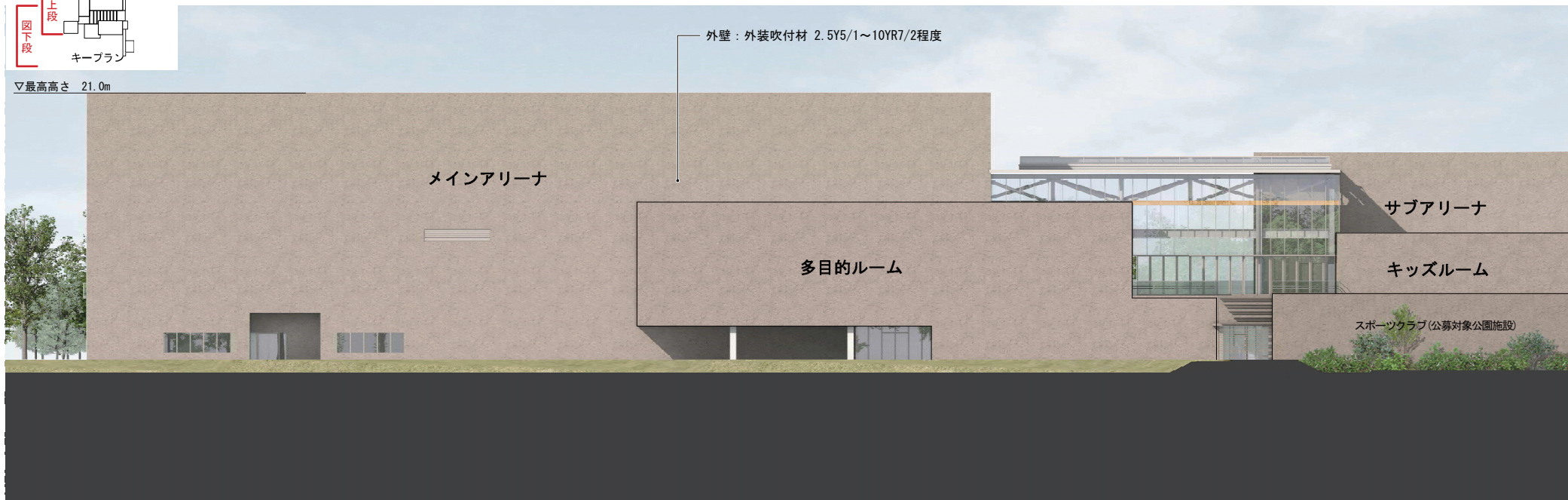
▽最高高さ 21.0m



西側立面図

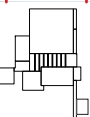


▽最高高さ 21.0m



図上段

北・南側立面図



図下段

▽最高高さ 21.0m

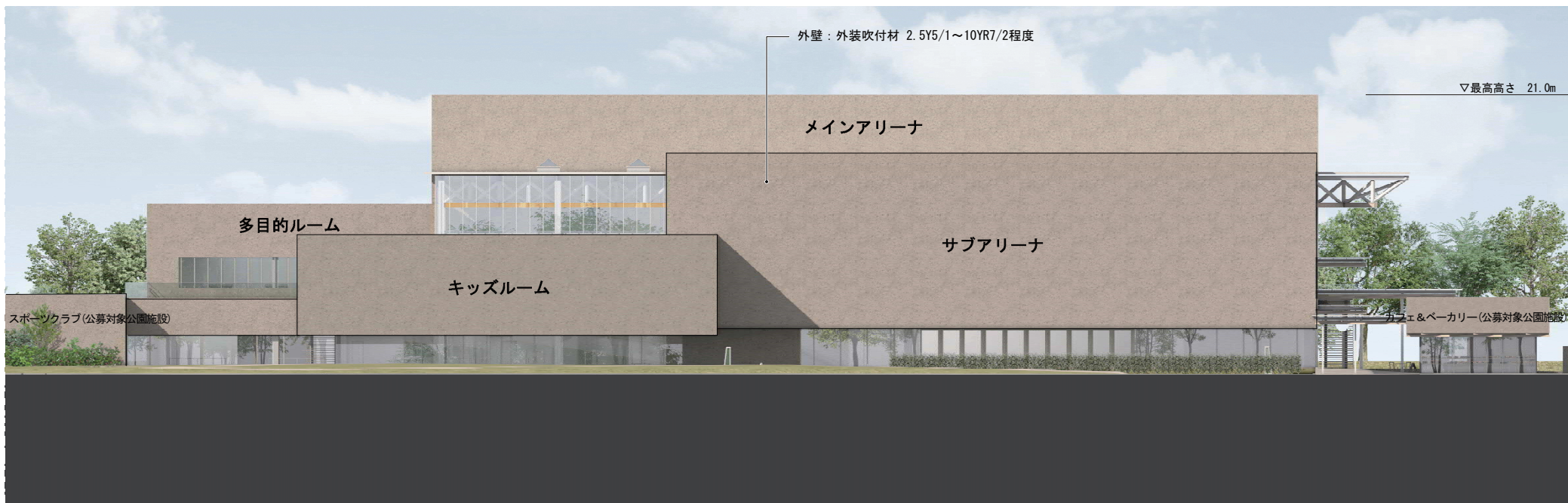
外壁：外装吹付材 2.5Y5/1~10YR7/2程度

メインアリーナ

多目的ルーム

カフェ&ベーカリー(公募対象公園施設)

スポーツクラブ(公募対象公園施設)



外壁：外装吹付材 2.5Y5/1~10YR7/2程度

▽最高高さ 21.0m

メインアリーナ

多目的ルーム

キッズルーム

サブアリーナ

スポーツクラブ(公募対象公園施設)

カフェ&ベーカリー(公募対象公園施設)

既存林の活用による市推薦樹を中心とした植栽計画

事業用地南側の計画

既存林の一部を活用すると共に、移植木及びミズナラやハルニレなど市推薦樹による新植を加えることで、気候風土に適した手間のかからない、持続可能なひとまどりの樹林となります。

事業地北側の計画

北側既存樹林の林縁に苗木を追加します。階層的な緑化により森のパウファ機能を高め、鉄道からの視線、騒音を防ぐとともに、安定した生態系を作ります。



市推薦樹を中心とした樹木植栽計画



※場内移植は根茎や樹勢など移植に適したものを選択します。
 ※強風を考慮し全ての新植及び移植する樹木に適切な支柱を設けることとします。
 ※強・多雪地で生育した柔軟で枝折れしにくい材料を調達することとします。

